



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

コロナ迅速検査、9月目標 塩野義、25分で判定（共同通信社 2020.8.11 配信）

塩野義製薬は7日、**新型コロナウイルスの感染の有無を約25分で判定できる新たな検査手法について、9月に提供開始することを目指す**と発表した。**現行のPCR検査と同等の精度で迅速な検査が可能**となる。8月をめぐり厚生労働省に申請する。

新たな検査手法は「革新的核酸増幅法(SAT-IC=サティック=法)」と呼ばれ、日本大と群馬大、東京医科大の共同研究チームが開発した。専門の技師や検出機器を必要とせず唾液などから検出できるという。

塩野義は経済産業省と厚生労働省から計373億円の助成金を受けることも発表した。助成金により新型コロナワクチンを生産する体制を構築する。2021年1月にも一部医療機関に限定して供給を始め、21年末までに年間3千万人以上のワクチン生産体制を整えたい考えだ。

膝関節の機能回復へ 島根大医学部など 新たな治療方法研究

(山陰中央新報 2020.8.11 配信)

中年や、お年寄りを悩ませている膝の関節の痛みを和らげる新たな治療方法の確立に、島根大医学部整形外科学教室などの研究チームが取り組む。**ヒトの骨髄から骨や軟骨に変化する高純度の間葉系幹細胞「REC(レック)」を使い、関節の機能を長持ちさせるのが狙いだ。**

研究チームは、内尾祐司教授(58)が率いる同教室と、製薬会社「持田製薬」(東京都)、RECを見いだした同大発のベンチャー企業「PUREC(ピューレック)」(出雲市塩冶町)。

内尾教授によると、膝の痛みで歩きにくくなるなどの変形性膝(しつ)関節症は、自覚症状がある人が約800万人、エックス線診断で疑いがある潜在的な患者は約2500万人と推定される国民病の一つ。人工関節手術や投薬による療法が一般的だ。

治療方法は、関節の動きを滑らかにする軟骨へ変化するRECを注入。持田製薬が開発した高純度のアルギン酸ナトリウムは、ねばねばしたかんてんのような物質で、RECを保護する役割を果たす。投薬によって、**膝の関節機能を回復させることが期待**できるという。

今後、約2年かけて動物モデルによる基礎研究を行い、臨床研究に移行する計画を立てている。内尾教授は「高齢者が長く社会で活躍できる社会の構築に貢献したい」と話した。

地域ルピナス講習会のお知らせ

一部
再延期
しました！

第69回東大阪地域リハビリ勉強会
⇒理学療法アプローチとリスク管理について
～パーキンソン病症例を通して～

開催日：令和2年10月15日(木)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 井上直大



第28回城東地域リハビリ勉強会
⇒認知症予防に向けた運動

開催日：令和2年10月23日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 第3小会議室
講師：ルピナス理学療法士 武田勇二

第39回忠岡地域リハビリ勉強会
⇒知っておきたい救急処置の基礎知識
～高齢者の心疾患～

開催日：令和2年11月20日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 地下会議室
講師：ルピナス理学療法士 松浦新吾

